

小児科医師募集メッセージ

小児科の友納優子と申します。当科では病棟・外来ともに私達と一緒に働いていただける小児科・内科系の先生方を募集しています。

当センター小児科病棟では、重症心身障害児者の生活・健康維持支援を行っています。現在、125床のうち74床が小児科担当で、5歳から72歳、平均年齢29歳の入所者の健康管理をしています。外来では発達障害臨床を行っており、多くの子供さんたちが小児科外来を受診されています。

私は2015年4月に、福岡大学病院小児科から当センターに赴任しましたが、重症心身障害児者の方々の生活リズムや病態を学び、どのように治療したら心身の安定した状態が保たれるか、さらに様々な合併症に遭遇し対応を学ぶことができました。重症な場合や専門領域の治療が必要な場合は、近隣の総合病院小児科、内科、外科の先生方にもご協力いただいております。

また看護、訓練、指導スタッフなどの多職種連携によるチーム医療を行っており、様々な視点からの意見を聞けるので学びになっています。

外来では、高校卒業までの発達障害臨床をしています。自閉スペクトラム症、注意欠如多動症などの診断と治療、日常生活への助言、リハビリ目的で受診される子供さんの診察を行っています。また、子供さんの所属施設のスタッフの方々とも情報交換をして連携を行っています。発達障害といっても人それぞれで、かんしゃくが強いケース、不安が強いケースなど様々な症状を呈しています。その子供さんがどのように生活したら、どのような環境であったら、その子供さんの良さを発揮できるのかを考えながら診療を行っています。

当科の職場の宣伝ですが、私が最も心がけていることは、先生方ご自身の心身の健康が保てる職場にしたいと考えております。先生方ご自身やご家族の病気の際は休みやすいような職場にしようと考えています。見学はいつでもご連絡ください。どうぞよろしく願いいたします。

北九州市立総合療育センター
副所長（小児科医）友納 優子